

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アルテコ マゼラン 52(主剤)
会社名	株式会社 アルテコ
住所	滋賀県湖南市岩根 136-87
担当部門	品質管理部
電話番号	0748-75-3901
FAX 番号	0748-75-1804
E-mail	hinkan@alteco.co.jp

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

健康に対する有害性

皮膚腐食性/皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(気道刺激性)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分 1
水生環境有害性(長期間)	区分 1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル

感嘆符、健康有害性、環境



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い

注意書き

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋(ポリエチレン製)/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けること。
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名 : エポキシ樹脂系 2 液型接着剤

成分	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・労安法)	含有量 %
① ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂 (労安法該当)	9003-36-5	(7)-1285	50~60
② 1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン (PRTR法、労安法該当)	101-90-6	(7)-1284	20
③ シリカ (PRTR法、労安法、毒劇法に該当しない)	非公開	非公開	1~10
④ 充填材 (PRTR法、労安法、毒劇法に該当しない)	非公開	非公開	20以下
⑤ 反応性希釈剤 (PRTR法、労安法、毒劇法に該当しない)	非公開	非公開	10以下
⑥ 酸化チタン (労安法該当)	13463-67-7	(1)-588	1未満

4. 応急処置

吸入した場合 : 硬化剤との混合物の蒸気を含め、温度上昇時に生じる蒸気を吸入して、かゆみなどの異常が生じた場合は、すみやかに医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 付着物をふき取り、中性石けんでよく洗う。かゆみや炎症などの症状が出た場合は、すみやかに医師の診断を受ける。
 眼に入った場合 : 多量の水でよく洗う。痛みなどの異常がある場合は、ただちに眼科医の診断を受ける。
 飲み込んだ場合 : 安静にして医師の診断を受けること。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末、二酸化炭素(ABC型)
 特定の消火方法 : 付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
 環境に対する注意事項 : 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 除去方法 : 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
 多量の場合は、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出した物をすくい取り、空容器に回収し、密閉する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。保護眼鏡、防毒マスク、不浸透性手袋等の保護具を着用する。直接手で取り扱うような作業方法は絶対に避ける。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
 注意事項 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は、全体換気を適正に行う事が望ましい。
 保管
 適切な保管条件 : 容器を密閉し、直射日光の当たらない 5~35℃の乾燥した場所で保管する。その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 混合、注入、塗布、接着工程などの作業場には、局所排気装置(加熱工程の蒸気発散源には、ブース式又は囲い式フード)を設置する。
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : 日本産業衛生学会(95年度版) 未設定
 保護具
 呼吸器の保護具 : 防毒マスク

手の保護具 : ゴム手袋など不浸透性の手袋を着用する。
 眼の保護具 : 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。
 皮膚及び身体の保護具 : 長靴、前掛け、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : ペースト状
 色 : 乳白色
 臭い : エポキシ臭
 比重 : 1.31~1.37(25℃)
 引火点 : 94℃以上(クリーブランド開放式)
 溶解度(水) : 難溶解

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱いにおいては安定。 但し、高温・高湿な場所での取扱い・保管は避ける。
 反応性 : 硬化剤との混合時に、急激な重合発熱反応をおこす可能性がある。
 危険有害な分解生成物 : データ無し

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 分類できない (NITE データより)
 急性毒性(経皮) : 分類できない (NITE データより)
 皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分2 (NITE データより)
 眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 区分2A (NITE データより)
 皮膚感作性 : 区分1 (NITE データより)
 生殖細胞変異原性 : 区分2 (NITE データより)
 発がん性 : 区分2 (NITE データより)
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3(気道刺激性)

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性) : 区分1 (NITE データより)
 水生環境有害性(長期間) : 区分1 (NITE データより)
 オゾン層への有害生 : 分類できない (NITE データより)

13. 廃棄上の注意

- ① 都道府県条例等に基づき焼却するか、又は、産業廃棄物として許可を受けた処理業者に委託する。使用済みのウエス等も同様である。
- ② 硬化剤と混合し、硬化させた物は、廃プラスチック類として許可を受けた処理業者に委託する。
- ③ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去しておく。

14. 輸送上の注意

注意事項 : 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。引火性液体に関する一般的な注意事項に従うこと。火気厳禁とする。

国内規則

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
 国連分類 : クラス9 有害性物質
 国連番号 : 3077 包装等級III

15. 適用法令

消防法

指定可燃物 合成樹脂類

労働安全衛生法

第57条の1(施行令第18条) 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン
 第57条の2(施行令第18条の2) 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン
 酸化チタン

既存変異原化学物質(通達による指導物質) ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂

労働基準法

労災認定物質 ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂

化学物質管理促進法(PRTR法)

第一種指定化学物質 1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン

海洋汚染防止法

海洋汚染物質X類 ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂

毒劇法
非該当

16. その他の情報

日本接着剤工業会自主規制 JAIA 006268 F☆☆☆☆
JAIA 403026 4VOC 基準適合

引用文献

- ・ 接着剤の製品安全データシート作成の手引き (日本接着剤工業会)
- ・ 化学物質による健康障害を防止する為の手引き (日本化学工業協会)
- ・ 製品安全データシートの作成指針(改訂版) (日本規格協会)
- ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)GHS 分類結果データベース(利用者判断)

その他記載事項について

- ・ 記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。
- ・ この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正される事が有ります。
- ・ 以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄してください。